

おおた
太田生涯学習報

はばたき

■発行/秋田県大仙市教育委員会 太田分室・太田公民館
〒019-1613 秋田県大仙市太田町太田字新田下野50-3
TEL 0187-88-1119・FAX 0187-88-2044

目次

表紙	太田キッズ学びい教室
	太田を元気にする秋まつり
太田の文化よ未来に響け・輝人さん	2P
鈴木空如・ミニ展示コーナー・冬季講座	3P
スポーツプレイバック	4・5P
スポーツ少年団からのお便り	6~8P
花づくりで笑顔咲く	8P
太田図書館の楽しい企画展	9P
我が学び舎の1年を振り返って	10・11P
チャレンジデー in おおた・編集後記	12P



7/29 ~ 30 「太田キッズ学びい教室」

「学校支援地域本部」の生みの親で現在大阪府教育委員会特別顧問の藤原和博氏が訪れ勉強している子どもたちを温かく励ましてくれました。



10/17 ~ 18 「太田を元気にする秋まつり」

子どもたちと一緒に秋の実りに感謝し、盛り上がりました。



昨年5月初旬に、嬉しい偶然に出会うことができました。それは、大台スキー場で二つのお花見ができたことです。

スキー場のど真ん中に『梨の木』があります。駐車場へ入る左側道路の両脇には、奥の沼に続く『黄桜並木』があります。これらの見頃がゴールデンウィークの終わり頃だよということは、五月晴れの陽気に誘われて、たまたま出かけて初めて知りました。

黄桜並木は満開。自主トレしている鶯の声まで聞こえてきます。すっかり得した気分になり、展望台まで足を伸ばしてみると、中腹に白い花をつけた梨の大木が見える。車を降りて大木の根元に近づくと、枝いっぱい白い花が眩しい。初めて観た。梨の花は今咲くんだ。感動以外のなにものでもない。それは、それは圧巻です。

お日さまを背に見下ろすアングル、梨の花と眼下に広がる豊かな田園風景に時を忘れて見入っておりました。今年も五月晴れの天空いっぱいに咲かせた満開の花を魅せてください。

いつまでも残しておきたいふるさと太田の花風景です。 (太田公民館長 草薨 均)



第4回(平成21年度)

大仙市芸術文化賞表彰式並びに受賞祝賀会



太田の文化よ未来に響け

市芸術文化賞受賞!

東今泉八幡太鼓

第四回大仙市芸術文化賞の表彰式並びに祝賀会が、平成二十二年二月十三日、グラントパレス川端にて盛大に行われました。

太田地域からは東今泉八幡太鼓(代表大信田悟・東今泉)が三十年余りの活動と若手後継者育成に努めていることなどの功績から奨励賞を受賞しました。

表彰式後の祝賀会では太鼓演舞が披露され、会場内には勇ましい八幡太鼓が鳴り響きました。昨年は「東今泉八幡太鼓三十周年・ジュニ

市芸術文化賞表彰式



■式典で奨励賞表彰を受ける東八幡太鼓代表大信田悟さん(東今泉)

ア十周年記念公演」を開催し、今後のますますの活躍が期待されます。

民謡でまたも全国優勝!

高橋邦子さん(金井伝)

平成二十一年度民謡民舞全国大会が、平成二十一年十月二十三日、財団法人日本民謡協会の主催により両国国技館(東京都)で行われ、出場した高橋邦子さんが民謡高年部旗戦松の組で優勝に輝きました。

大会には全国各地から唄の兵(つわもの)が集まり、高橋邦子さんは「秋田おほら節」を熱唱、地元のおほら節全国大会」でも優勝したことがあり、それに続いての受賞になりました。また、十二月には太田東小學校二年生の授業で「民謡名人」として子どもたちにすてきな民謡を披露しました。

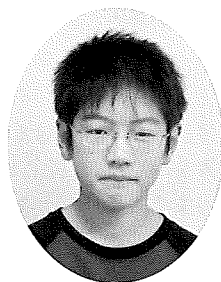


■優勝の報告に栗林市長を呼んだ高橋邦子さん(写真右)

☆わが町の「^{きじん}輝人」さん☆

Vol. 19

「一日一歩」



高橋 龍一君
(太田南小学校6年)

囲碁は、盤上に何も無い所から始めます。そういう所は「物を作る」と似ています。終わりの形を想像しながら打っています。相手が自分の読みと違う手を打ってきたり、なかなか思うようにいきません。

最近は大田町に住んでいる囲碁の先生方に週に一度公民館で教わっていて、指導碁の後は、最初から並べ直して内容を振り返ります。先生の話は、対局のこと以外にも、碁に對しての考え方、今までの経験、どうやって強くなったかなど、聞いているだけでも強くなる気がして、自分はまだまだと思う反面、いつかは追いつきたいと思います。

スポ少などで疲れていても、毎日打ちます。対局と検討で一時間はかかるので、寝るのが遅くなることもしょっちゅうですが、それでも続けているのは、大会で勝つたりするとうれしいからです。

僕は、これからも囲碁を続けていきます。

(龍一君はこの四月から中学生になります)

生涯学習作品を披露しませんか?
ミニ展示コーナー

太田文化プラザ玄閣ホールに展示コーナーがあるのはご存知でしょうか?

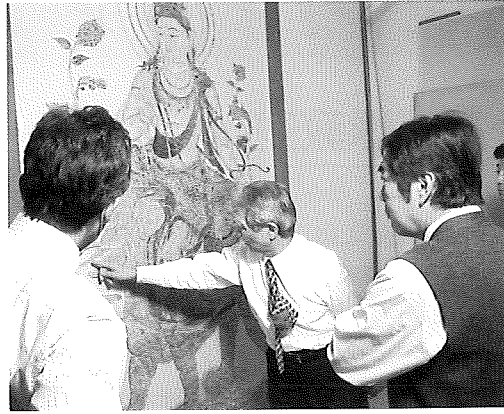
住民の皆が誰でも気軽に生涯学習作品を披露できる場所として設置しております。

展示は自薦他薦・個人団体間いませんでお気軽に太田公民館までお問い合わせください。



■あなたの学習の成果を披露しませんか?

■東北大学名誉教授の有賀祥隆専門調査員の指導の下、東京国立博物館保管の鈴木空如模写絵の調査を行いました。



今年度文化財保護課では生家の土蔵に大切に保管されている関係資料を調査・保存する事業を行いました。今後空如が行った仏画模写についての学術的業績と仏画師として歩んだ清貧の精神が明らかになってきます。

太田の偉人鈴木空如氏は法隆寺金堂壁画を模写したことで知られています。この壁画以外にも数多くの作品を描いていることをご存知でしょうか? 空如は法隆寺壁画模写十二面を生涯三組制作し、このほかにも仏画を描いていて、五千枚とも一万枚とも言われています。

調査事業が進められています
法隆寺壁画を模写した太田の偉人
「鈴木空如」

すずき くによ

暮らしいきいき
公民館冬季短期講座

今年度もIT、やきもの、料理、生け花、パッチワーク、編み物、押し花の7つの冬季短期講座を実施し、たくさんの方から参加していただきました。

料理講座はクリスマスとお正月の「ハレの日」がテーマ。2回行われた講座では、参加者は講師の先生と一緒に料理を作りながら楽しく交流し、最後は自分達の作った料理に舌鼓を打ちました。テーマの料理以外にも講師の先生の便利な料理アイデア情報に「なるほど・・・早速試してみよう」と嬉しそうになづく姿も見られました。

また、パッチワーク講座など作品づくりの講座が多かったこともあり、受講者の皆さんがそれぞれ試行錯誤しながら、自分のイメージやデザインを形にして、ものづくりの楽しさを味わっていたようです。

楽しく学びながら、自分の生活や生き方を充実させたい・・・何かを始めてみたいと思ったら、気軽に公民館の講座などに参加してみてください。公民館は皆さんの学習活動のお手伝いをしております。



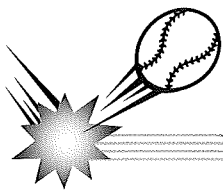
■料理講座



■IT講習



■生け花教室



スポーツプレイバック

少年少女野球教室 in おおた

平成21年5月4日、少年少女野球教室inおおたが太田球場で行われ、太田地域のスポーツ少年団3チームの団員67人が参加し、本県出身者を含む元プロ野球選手による指導を受けました。

指導では、キャッチボールの基本を学んだ後に、おのおののポジションに分かれ、それぞれ実践形式での熱心な指導を受けました。

【講師】

村田辰美（元近鉄・横手市出身） 山内英雄（元大洋・秋田市出身） 近藤幸造（元読売巨人・男鹿市出身）
村岡耕一（元大洋） 小西秀朗（元国鉄・秋田市出身）



■一つ一つの基本動作を確認しながらの指導。選手も講師も真剣です。

■雨まじりの開催となりましたが、深緑を楽しみながら自分のペースでゴールを目指します。



てくてくウォーキング

平成21年6月6日、てくてくウォーキングが奥羽山荘を出発・ゴールとするサイクリングロード「トパーズロード」を会場に行われました。

当日は早朝から小雨が降り、時折雨脚が強まる場面もありましたが、参加した36人は深緑の豊かな自然を楽しみながら片道の5キロコース、往復の10キロコースを自分のペースで歩きました。

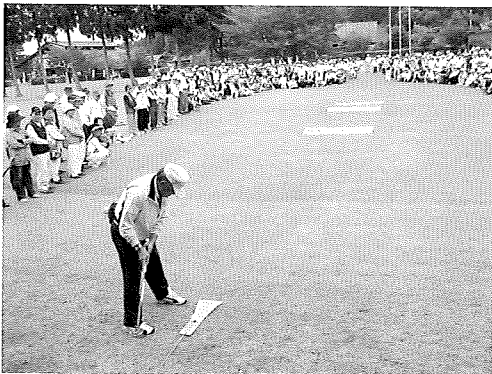


■日ごろの練習で培った熟練のワザだけでなく、チームの勝利には緻密な作戦も必要です。

秋田県親善ゲートボール太田町大会

平成21年6月10日、秋田県親善ゲートボール太田町大会が太田多目的運動広場で行われました。

第20回となるこの大会には、県内各地から40チームが参加。参加者は50歳代から90歳代までと幅広く、年代を越えた交流を楽しみながらプレーしました。最高齢者は96歳の横手市の女性の方でした。



■優勝者には沖縄県宮古島大会への出場権が得られるのもこの大会の魅力です。

秋田太田南部忠平杯G・G大会

第17回秋田太田南部忠平杯グラウンド・ゴルフ大会が、平成21年8月29・30日に秋田太田奥羽グラウンド・ゴルフ場で行われ、全国各地から622人のプレーヤーが参加しました。

各コースのメインゲストと同打数の方と、各コースの優勝者で争うプレーオフの結果、後藤實さん（大森町グラウンド・ゴルフ協会）が南部忠平杯を手に入れました。

■雄大な自然の中、さっそうと駆け出すランナーたち。



奥羽太田ロードレース大会

平成21年10月11日、第11回奥羽太田ロードレース大会が奥羽太田ロードレース大会特設コース(日本陸上競技連盟公認コース)で行われ、県内外から398人のランナーが参加しました。

ランナーたちは観客の声援を受けながら、深まりゆく秋の自然に包まれたコースで健脚を競い、スポーツの秋を満喫しました。

冬季少年少女野球教室

平成21年11月29日、冬季少年少女野球教室が大仙市営太田球場で開かれ、市内のスポーツ少年団7チーム102人が参加しました。

講師は北海道日本ハムファイターズの伊藤剛投手で、参加した団員は投球や捕球など基本動作の指導を受けたほか、伊藤投手と直接対決しプロの投げる速球を体験するなど、貴重な経験となりました。



■ボールの握り方、目指す視線。プロのアドバイスを一言も漏らさないよう熱心に耳を傾けます。

2010大台大回転(タミヤカップ) スキー大会

平成22年2月13・14日、第20回目となる2010大台大回転(タミヤカップ)スキー大会が行われ、県内各地の小学4年生から中学生まで181人が参加しました。

100分の1秒まで競うのがスキーの競技。選手は全長1,008m、最大斜度26.3度(平均14.1度)のコースに挑み、雪煙を上げながら果敢な滑りを見せてくれました。

太田地域内の入賞者は【小学6年女子】第2位=高橋沙湖さん(太田北小)。



■100分1秒を競うスタート。緊張の一瞬。

「スポレクとやま2010」に

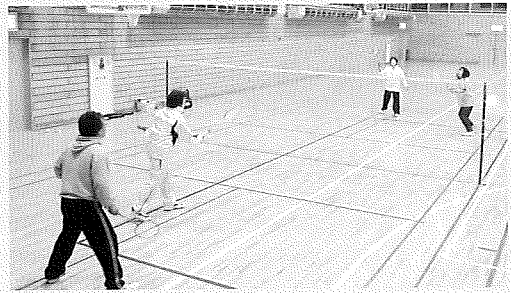
太田町バドミントン協会 が県代表で参加

第23回全国スポーツ・レクリエーション祭「スポレクとやま2010」が、平成22年10月16日から19日の間、富山県富山市を会場に開催されます。

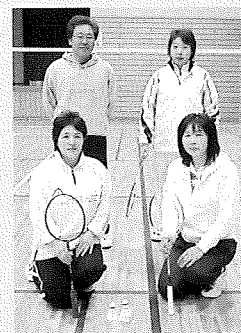
今年、このイベントに秋田県代表として太田町バドミントン協会が参加することになりました。

このスポーツ・レクリエーション祭とは勝敗を競うのではなく、スポーツを通じて交流を深めることを目的に開催されるもので、バドミントンや家庭婦人バレーボール、3B体操、フレッシュテニスなど多彩な内容で交流を深め合います。

参加にあたり、太田町バドミントン協会会長の小柳悟さん(三本扇字高花)が抱負を語ってくれました。



■日ごろの練習風景。



小柳 悟さん
(写真上段左)

「10年前に出場した時は残念な結果でしたが、今回また出場するにあたり、交流を深めながら大仙市バドミントン協会と共に秋田県代表としてがんばってきます。」

中仙おおたアルティスタFC



太田・中仙地区の6つの小学校から集まった、41人の団員が活動しています。

サッカーを楽しむ事をモットーに失敗を恐れず、自分の考えでチャレンジし、仲間を信じ、そして助け合うことがチームの理念です。その理念のもと「中仙おおたFC」の活動も10年目をむかえました。県大会出場は3年連続でしたが、この節目の年に今まで越えられなかった壁、県大会ベスト16入りを果たしました。それ以外にも、この紙面では伝える事が出来ないほど好成績を収めることが出来ています。

年始めは試合が劣勢で選手同士が言い争ったり、責任のなすり合いの場面も見られましたが、今では選手同士が冷静に話し合い、そして励まし合いながらサッカーを楽しめるようになり、何よりも喜ばしいことです。そして対戦相手の選手も敵ではなくサッカーを愛する仲間であることも忘れずに、関わるすべての人々に感謝しながら、今日もまた団員はサッカーを楽しんでいます。

太田東ミニバスケットボールクラブ



年々団員数が減っていく中でも、我が太田東MBBCは団員にも環境にも恵まれ、元気に明るく練習に励んでいます。

バスケの上達はもちろん、バスケというスポーツを通じて努力すること、最後まであきらめないこと、そして、チームワークの大切さを、厳しくもあたたかい指導のもとで学んでいます。

3～6年とちがう学年ながらも、上手になって試合で勝ちたいという同じ思いを持ち頑張ってきたことで、平成21年度には、稲川フレンドリーグ、日野カップで優勝することができました。

今は手探り状態で新しいチームをつくっている状態です。やる気ではどのクラブにも負けないよう、納得した結果を残せるよう今年度もみんな力で力をあわせて頑張っていきます。

スポーツ少年団 からのお便り

～平成21年度活動紹介～

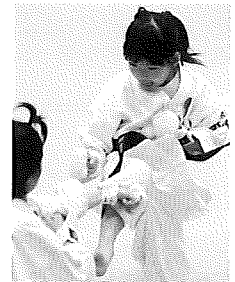
大仙市スポーツ少年団太田支部には、平成二十一年度、団登録している十一のスポーツ少年団が活動しています。日ごろから指導者の熱心な指導のもと、真剣に練習へと取り組み、各大会などで活躍されました。

ここでは太田支部の各団から、今年度の活動を振り返るお便りが寄せられたチームについての内容を紹介します。

また、ここで紹介する団のほかにも、ガッツ太田（男子バスケットボール）、太田風の子（陸上・相撲・ドッジボール）も活躍されました。

太田秀心館空手道

私たち秀心館スポーツ少年団は、太田と美郷に名称が分かれてはいますが、日本空手協会太田支部という組織の名の元に秀心館道場で共に稽古している指導員と道場生で構成されています。年間を通じ空手を中心に地域の行事など広く活動しています。



【平成21年度主な大会成績及び活動状況】

5月31日	県南中央地区少年親善大会（由利本荘市） 個人・団体共優勝以下入賞者多数
7月5日	東北大会（弘前市） 小3女形優勝・組手3位：坂本里穂（美郷） 中2女形2位：上村美南（太田） 他出場者：藤本康太（太田） 藤原勝大（美郷） 齊藤日菜子（美郷） 佐藤雛（美郷）
8月1～2日	全国大会（同会派）上村、坂本、齊藤出場
9月13日	県大会（同会派）優勝以下入賞多数
10月11日	県大会（全流派）優勝以下入賞多数
2月20日	太田の火まつり、紙風船参加
3月6日	弥生杯（秋田3支部、岩手2支部）（盛岡市） 優勝以下入賞者多数

太田北野球クラブ

今年も「太田北野球クラブ」を応援よろしく願います。
 一戦一戦「完全燃焼」出来るよう頑張っています!!
 今年もチーム一丸となつて、



平成21年度出場大会

- ・秋田県小学生野球協会交流大会
- ・高円宮賜杯全日本学童軟式野球大会
- ・スポーツ少年団交流球技大会(神岡予選)
- ・ローリングス旗争奪学童軟式野球大会
- ・ゼット旗争奪学童野球大会
- ・東北学童新人軟式野球大会
- ・読売全県選抜さわやか野球大会出場
- ・スポーツ少年団新人交流球技大会(神岡予選)
- ・新人神岡大会出場
- ・秋田県小学生野球協会新人交流大会

太田南ファイターズ



**全員野球で
頑張るぞ!!**

4月現在、太田南ファイターズの団員数は21名。新入団員を募集しております。練習見学などお気軽にお越し下さい。

平成21年度 主な大会成績

秋田県小学生野球協会交流大会地区予選	準優勝
スポーツ少年団交流球技大会(神岡予選)	優勝
ゼット旗争奪学童野球大会	準優勝
読売全県選抜さわやか野球大会	2回戦

《平成22年度 公式大会予定》

秋田県小学生野球協会交流大会地区予選/全日本学童軟式野球大仙支部予選大会/太田支部スポーツ少年団交流球技大会/大仙北スポーツ少年団スポーツ少年団交流球技大会(神岡予選)/ローリングス旗争奪学童軟式野球大会/ゼット旗争奪学童野球大会/東北学童新人軟式野球大仙支部予選大会/太田支部新人交流球技大会/大仙北スポーツ少年団新人野球神岡大会/秋田県小学生野球協会大仙美郷地区新人野球大会

太田東シャイニングスターズ



<チーム紹介>

部員数：20名

監督：熊谷隆世

コーチ：高貝一春

藤原 悟



- 一、約束を守ること。
- 一、元気にあいさつすること。
- 一、野球ができることに感謝すること。

さらに約束を守ることの中には、一つ、宿題を忘れない。二つ、いじめをしない。三つ、お手伝いをする。が含まれる。以上を基本として、中学進学後につながる礼儀及び体力を身につける。

【平成21年度の主な活動・成績等】

- 4月：強化合宿・練習試合スタート
- 5月：各大会の激励会・祝勝会
- 6月：高円宮賜杯全日本学童軟式野球大会
スポーツ少年団交流球技大会(神岡予選) 準優勝
- 7月：ゼット旗争奪学童野球大会
- 9月：スポーツ少年団新人交流球技大会(神岡予選) 準優勝
- 10月：ファミリーボール杯
秋田県小学生野球協会新人交流大会・球納め

太田南ウイングスターズ



“WIN勝利のために WING翼を広げ STARS輝け”を合言葉に、平成21年度も子ども達は、一つのボールに集中し練習に励みました。

少ない人数ながらも2人の6年生が後輩達をひっぱり、最後まであきらめずに全力でプレーすることができました。

第3回太田仙北新人戦では、練習の成果を存分に発揮し、見事優勝することができました。優勝カップで飲んだジュースの味は格別で、最高の思い出となりました。

また、目標としていた全県大会出場は叶わなかったものの試合終了のブザーが鳴るまで気迫あふれるプレーを続ける子ども達の姿は、試合会場全体を感動の雰囲気の中で包み込んでくれました。

運動が大好きな皆さん、一緒にバスケットを楽しませてください。お待ちしております。

太田南大杉

ドッジボールスポーツ少年団

秋田県では、低学年クラスと高学年クラスに分かれて大会があります。1年生から6年生まで、男女混合でもOK!

基礎体力と運動能力向上にドッジボールを取り入れている学校がたくさんあります。投げる・捕ることはもちろん、仲間と助け合うこと、最後まであきらめないこと、精神を集中すること、そして勝つことの喜びをみんな味わいながら、心と体を育てます。低学年や初心者向けのやさしいメニューもあります。お友だちと誘い合ってお気軽においでください。

**ドッジボールしよう!
春の見学会実施中です!**

新入部員向け練習メニュー新規開設! プレゼント有り!!

練習日/毎週水曜日・土曜日/午後7:00~9:00 低学年は8:00まで
場所/太田南小学校体育館 連絡いただければ送迎いたします



平成21年度ポイントランキング
全県2位



平成21年度 大会成績

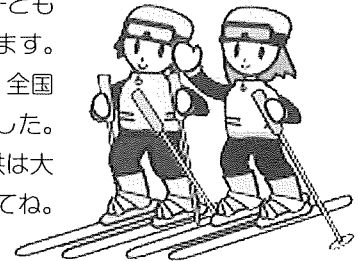
9月21日	桃豚チャレンジカップ	第3位
12月13日	フロンティアカップ	第3位
12月20日	県南カップ	準優勝
1月17日	よねしろカップ	準優勝
2月11日	秋田県ドッジボール選手権	第3位
3月14日	ファイナルマッチ	準優勝

太田南大杉は子ども達の将来と地球の未来を考えています



太田スキー Jr レーシングは、大台スキー場が営業している期間の毎週月・水・金午後7時から9時のナイター練習を主に活動しています。

冬期間の活動が主ですが、オリンピックを目指している団員からスキーがもっと上手になりたいと思っている団員まで、様々な目標の子ども達と一緒に活動しています。今年度は東北大会5名、全国大会には9名出場しました。スキーに興味がある子供は大歓迎です。ぜひ遊びに来てね。



■8月29日から9月5日に太田中学校前庭で開催された、恒例の花だんフェアには500人もの来場者が。

天に星 地に花 人に愛

太田秋田ライオンズクラブ

花づくりで 笑顔咲く

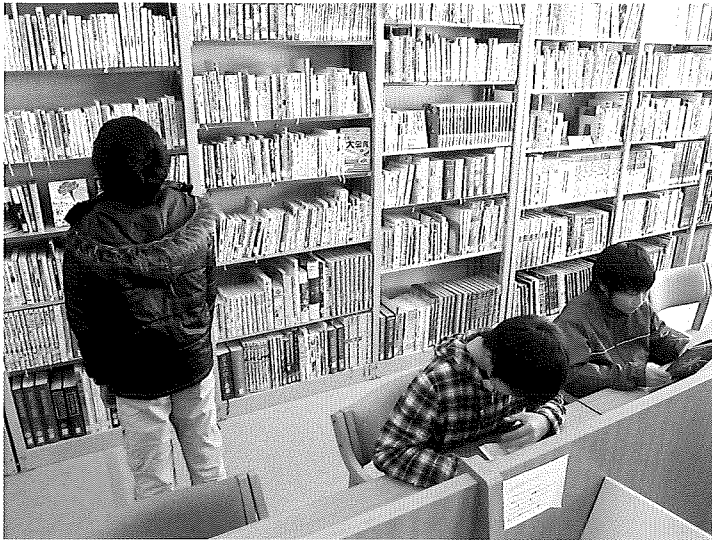
太田公民館では、花だん活動を通じて人づくり、地域づくりを進めようと地域花だん活動の支援や花いっぱいコンクール、花だんフェアの開催、スイセンロードの拡大などを行っています。

地域花だん活動では、子ども達が地域の方々と一緒に花だんづくりをすることで、地域の連携と郷土愛を深め、明るく住み良い太田を築く最も有効なきっかけづくりにも繋がります。

今年度は天候の関係もあり、花の育ちが思わしくないという声も聞かれましたが、地域を回ってみると、集落や家庭の花だんでは色とりどりの花が見事に咲き誇っていました。特に花だんフェアに訪れたお客さまからは「太田はどこを見ても花があふれている、すばらしい!」「丁寧に育てていることがうかがえる」など嬉しいお言葉をいただきました。

また、太田花いっぱいコンクールや花だんフェアにも多くの方から出品していただき、ご協力ありがとうございました。

公民館では、今後も地域の皆さんや「おたの花の会」の皆さんと力を合わせながら、みんなで『花のまち・太田』をめざした活動を発展できるよう支援していきます。皆さんのご協力よろしくお願いたします。



■男鹿和雄さん著「秋田・遊びと風景」企画展の様子。



■冬の企画展



■秋の企画展

太田図書館の楽しい企画展

絵本もいっぱい

気軽においでください

太田図書館では、今年度もさまざまな企画展示を行いました。
春には、西仙北地域出身の俳優・柳葉敏郎さんが市内のすべての図書館に本をプレゼントしてくださいということ

で、太田図書館では、利用者の多い児童書や花づくり関連の本を選び寄贈を受けています。これを紹介する展示を行いました。

また、太田出身の男鹿和雄さんからはご本人の幼少期をつづった「秋田・遊びと風景」を寄贈していただき、これにあわ

せて男鹿さん直筆のハガキや画集、物語などを展示する企画展も開催することができました。

太田図書館では、親子連れや小学生の利用が多いこともあり、年間を通して児童書をメインにした企画展示やその時期に話題の内容の本を集めた展示を行っており、また大型絵本の貸し出しなども行っ

ています。
この四月には、新年度企画展示第一弾として、全国『こどもの読書週間』に合わせ、四月二十三日(金)～五月十二日(水)まで『本をもっと楽しもう!』をテーマに、気軽に読書を楽しめるような本や高齢者向けの大活字本(大きな文字で書かれている本)などを多数用意します。

まだ図書館に来たことがない方も、いつも利用していただきつつも、ぜひ太田公民館内にある太田図書館に遊びにいらしてください。お待ちしております!

市内蔵書検索

「どこにいますか?」

大仙市内の各図書館にある図書検索システムや大仙市のホームページでは、市内の各図書館にある蔵書が検索できます。

他の図書などは取り寄せて借りることができます。また、検索コンピュータ(タッチパネル)の使い方がわからなかった場合はお気軽に職員にお尋ねください。



■市内図書館の蔵書が手軽に検索できます。

一年を振り返って



太田中学校

JRC委員会と生徒会が計画していたヒマラヤスギのイルミネーションが完成し、新しい太中の冬のシンボルが加わり、「花と緑と光の太田中学校」になりました。

点灯式では、高階彩音JRC委員長から「アルミ缶回収の収益で、生徒と地域の方々の協力の結晶としてイルミネーションが実現しました。太中生はもちろん、太田の子どもたちも大人の方々もこの光を見て、温かい気持ちになり、明日もがんばろうという気持ちになればという願いをこめ『希望の輝（ひかり）』と名付けました。この取り付け作業では、田口電気店さんをはじめ、先生方、校務員さんの協力をいただきました。この感動とともに感謝の気持ちを忘れず目と心に焼き付けましょう。」と挨拶がありました。

暗くなるにつれてイルミネーションは、その輝きを増し、スピードを緩めて見てくれる車も多かったようです。

ブルーとホワイトの高輝度LEDが2400個点滅していますが、144Wと消費電力も少なく、寿命が長く、熱も出さない植物に優しいエコなイルミネーションとなっています。



大曲農業高等学校 太田分校

今年度の太田分校は、「秋田さきがけ新報」などマスコミで数多く紹介されました。

まず、甲子園予選では、西仙北高校との対戦が大きく報道されました。

それぞれの監督が前監督同士ということで、「成長した部員に、対戦校の監督が涙する」という感動的なドラマがありました。文化祭には、「秋田さきがけ」が取材に来てくれました。農業コースの生徒たちが作った無農薬野菜の展示コーナーが、写真入りで、次の日の朝刊に掲載されました。そして、郷土芸能部の活躍は、「秋田さきがけ新報」、「朝日新聞」はじめ各種の広報でも紹介されました。ドンパル中仙での「高校生による民謡ショー」は、テレビの取材もあり、県民の話題になりました。

大曲農業高校太田分校は生徒数90名程度の小さな分校ですが、生徒たちは、生き生きと活動しています。来年度は、自転車競技部の活躍が期待されます。応援を、よろしくお願いたします。



太田南小学校

平成21年度学校支援地域本部事業の委託を受けました。それにより、主旨の周知、ボランティア募集と登録、協議会開催、広報の発行全戸配布、地域ボランティア交流室の設置、学校の要請と地域ボランティアとのコーディネート等の活動が始まりました。結果、途絶えていた大台山全校登山が復活し、プロジェクトX出演の太田在住 高橋清一郎氏による道徳授業も実現し、大根の柿漬け作りと全校での試食、体育館の床全面塗装作業など、いずれも地域ボランティアの力なしには実現し得なかった活動を展開することができました。ボランティア件数は54件を数え、学校と地域の垣根が低くなり、特色ある開かれた学校として地域に認めいただけるまでになりました。このように、初年度は地域の方々のご支援によって本校の教育力が向上し、子ども達の学習や体験活動の充実に確かな手応えを感じております。2年

目の来年度は、学校と地域の双方向の情報発信を活発にしながら融合を図り、真に地域と一体となった活力ある教育活動を推し進めたいと考えています。



太田東小学校

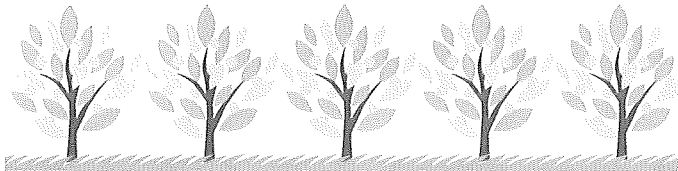
今年度太田東小学校では「ようこそ豪風さん集会」という行事を大仙市教育委員会太田分室の全面的なご支援・ご協力を受けて行うことが出来ました。

2部構成の内容でしたが、歓迎の集会、土俵のこけら落としの意味も込めた本校児童と豪風関の取り組みを行いました。集会ではもうすぐ30歳ということで全校児童が「ハッピーバースディ旭さん（本名）」の歌を合唱したところ、関取も満面の笑みで手を挙げ「サンキュー」と応えてくれました。児童からの質問にも快く回答してくださり、会場も大いに盛り上がりました。

後半の土俵での真剣な相撲勝負。しょっきりのように子どもたちをいなしたり、転んで見せたりと土俵の周りは保護者、地域住民、子どもたちの笑いの渦が沸き起こりました。秋田テレビの取材スタッフも本校を訪れ、本当にお祭り騒ぎでした。

このような本物に触れる体験は、いつまでも子どもたちに小学校時代の思い出として残ると思います。この学校行事実現に向けてご協力いただいた方々にただただ感謝の気持ちでいっぱいです。





我が学び舎の

太田みなみ幼稚園

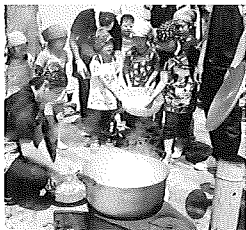
子ども達が楽しみにしている行事の中に、父親参観日でのカレー作りがあります。今年も年長組が近くの店に出かけて具材の買い出しをしました。「お父さんね、カレーの作り方がわからないから、お母さんから聞いていたよ。」「紙に書いて、教えてもらっていたよ。」などと、張り切ってお父さんの姿や待ちきれない子ども達の気持ちが伝わってきました。



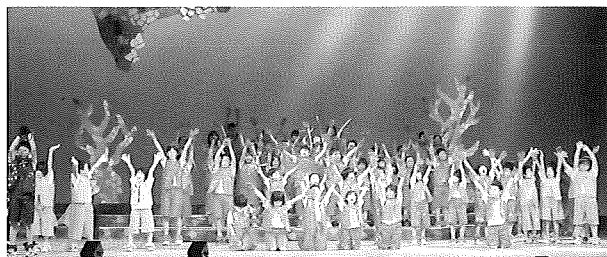
いよいよ当日、親子で野菜を洗ったり、切った具材を薪ストーブで煮てカレー作りを楽しみ、出来上がったカレーをお家の人と一緒に食べる姿は本当に嬉しそうでした。

実はこの日、サプライズで南小・北小の校長先生も参加、最後は北小学校の校長先生のギターに合わせて全員で歌って楽しいカレーパーティーを終えることが出来ました。

保育の場にお父さんにも参加していただきたい(育児参加)、また、一緒に作り、同じものを食べ、共感し合う喜びを味わっていただきたいという願いのもとで実施しております。野菜の栽培は祖父母の皆様からの協力を得て、生長の過程や収穫の喜びを味わうことができています。祖父母の方や保護者の皆様への御協力に感謝しております。



太田北小学校



今年で3回目の全校音楽劇は、学校教育目標の大きな柱として位置づけられ、「みんなの心を一つに、いきいき・のびのび・よりよく表現する子」の育成を目指して活動が開始されました。

今年は「葉っぱのフレディ」から離れ、子ども達の練り合いの中から、テーマは「勇気と協力」、題材は「スイミー」に決まり、同時に粗筋や主な役柄も子ども達の考えを元に決まっていきました。また、5・6年生は「表現(踊り)」「歌」「衣装」「大道具」の係に分かれ、それぞれが全校児童との関わりを持ちながら活動が行われました。特に今年は作曲を引き受けてくれた協力者のおかげで、使われる曲は全てオリジナルの曲になり、「歌係」は作曲いただいた曲に、劇の内容にあった歌詞をつけました。発表会当日(11月22日)は、照明や音響スタッフの見事な演出で、三度「本物の舞台」が実現しました。66名が自分の役になりきって精一杯歌ったり踊ったりして自分を表現し学習の成果を発揮しました。

おおた保育園

毎年、4歳児の子ども達を中心となって、野菜作りなどの農業体験を行っています。今年初めての試みとして、大曲農業高校太田分校さんのご厚意で米作りに挑戦しました。毎日食べているお米がどのように苦労して作られるかを体験し、お米の大切さ、命の大切さが子ども達に伝わるようにと実践することにしました。

五月晴れのある日、分校さんの田んぼの一角をお借りしての田植え。恐るおそる田んぼに入った子ども達は、思うように足を動かさずにいましたが、どんどんコツを覚え上達、最後は皆で「おいしいお米ができますように」とオマジナイをする姿もかわいい子ども達でした。



いよいよ9月末の秋晴れの日にハサミで稲刈り。刈り方を真剣な眼差しで見っていた子ども達は、慣れてくるとどんどん刈り進み、その順応とパワーに驚かされました。

10月、乾燥した稲をくしでの脱穀やゴルフボールとすり鉢での糊摺りに挑戦しました。粉から白いお米が顔を出す「お米だ、お米だ」と歓声が湧き上がりました。

子ども達が一番楽しみにしていたおにぎりパーティーでは、つば釜で炊き上がったご飯をラップに包みおにぎり作りに挑戦。満面の笑みで食べていました。



今回の実践は子どもがいろいろなことを感じ、ご飯への関心を深める貴重な体験をすることができました。ご協力をいただいた分校さんには感謝の気持ちでいっぱいです。実践してみて無限の可能性を持った子ども達に拍手を送りたいと思います。

太田ひがし幼稚園



「もうすぐ春です。土の中のちゅうりっぷも山の動物たちも、春がくるのを待っています。」卒園式で声高らかに呼びかけたお別れの言葉……。

今年度、17名のひまわり組が巣立ちました。式では、一人ひとりが心に残った思い出を自分の言葉で語った呼びかけ、また、未来の夢を大勢の前で叫んだ「ぼくの夢、わたしの夢」ではどの子どももその姿はキラキラ輝き堂々としたものでした。我が子の成長を涙で祝った保護者の皆様も多かったのではないのでしょうか。私たち職員も、涙にむせてしまいました。



園服園帽の廃止や、幼稚園の法人化への移行など、時代の流れと共に変化することが多々ありますが、いつの時代も変わらないのは、太田ひがし幼稚園の目標・キーワードにある、純真で素直な心「キラキラ、わくわく、まっすぐな心」であってほしいものです。

2010

チャレンジデー in おおた

5月26日(水曜日)

みんなで参加しましょう。
体を動かしましょう。
いい汗をかきましょう。



○太田地域の目標 【一人1kmウォーキング】

- ・太田地域の対戦相手の大分県豊後大野市緒方町
- ・対戦相手の大分県豊後大野市緒方町地区までは約2,050kmあります。
太田地域の皆さんが一人1km歩けば、かる～く太田と緒方町までを往復することになります。

「みんなでリレー・笑顔でリレー 4,000km」
歩こう、歩こう、一人1km歩こうよ!

どんな運動でもかまいません。
太田のパワーを全国に見せましょう。

自宅でも、職場でも、田んぼでも

自分の好きな場所で参加しましょう。

問い合わせ

チャレンジデー実行委員会事務局
(太田公民館内)

担当: 小松江里子、安達成年、高橋勝博
TEL 88-1119、86-9460 FAX 88-2044

※地域全戸に届出用紙をお配りします。
※各施設にも参加用紙を準備してございます。

編集後記

平成二十一年度の出来事をまとめ、生涯学習報「はばたき」の第十三号をお届けします。

今年度ある機会から初めて太鼓「みずほの寄席太鼓」と、「紙風船」作りを体験しました。

人生初の太鼓は当然上手に叩けるはずもなく、格好を気にすると拍子が狂い、拍子を気にすると格好が…といった具合でしたが、個性ある(?)演奏でもみんなの音が合わさることで音同士が協力し合い、観客に喜んで頂けるものになる喜びを学びました。

また、紙風船では一枚一枚はそれほど大きくなく、「個々」の夢や思いが書かれた紙が合わさることで、「大きな紙風船」となり天高く舞い上がりました。

どことなく地域づくり、生涯学習に通じるものがあるように感じました。

春で太田公民館を巣立つことになりましたが、太田の地域、人、体験、すべての出会いに感謝申し上げます。
(大河善晴)

〈編集委員〉

草薙 均、細川良隆
安達成年、三浦あゆ子
大河善晴、高橋勝博